2021 福缶

日本の縁起物

八橋人形 丑
秋田県 秋田市
八橋人形は秋田市の八橋地区で約200年前から作られてきた土人形です。近年廃絶の危機にありましたが、これを惜しむ市民の有志が集い「八橋人形伝承の会」を立ち上げ、保存、継承に努めています。重厚な土の感触と色合いが特徴の土人形です。
八橋人形伝承の会
〒010-0851 秋田県秋田市手形字大沢 369-6　TEL 090-5184-7364

白河だるま
福島県 白河市
300年ほど前からつくられている白河だるまは、眉は鶴、ひげは亀、烱のびんひげは松と梅、あごひげは竹を表す、大変縁起のよいだるまです。願いを込めて向かって右側の目に目玉を入れると必ず成就するといわれています。
白河だるま総本舗
〒961-0901 福島県白河市横町 30　TEL 0248-22-7060

招き猫
埼玉県 越谷市
埼玉県は大都市江戸に近かったことから、玩具の一大生産地として栄え現在に至っています。中でも越谷市は郷土張り子の一大生産地として知られ、今でも職人が一つ一つ手書きで絵付けをしています。
鈴幸人形店
〒343-0025 埼玉県越谷市大沢 4-6-52　TEL 048-976-2266

三河土人形 双子猫
愛知県 碧南市
陶磁器の産地にほど近い愛知県三河地方では良質な土が採れることもあり、江戸時代から各地でその農閑期を利用して土人形が盛んにつくられてきました。土人形は「おぼこ」と呼ばれ、ひな祭りが近づくと行商の人が売り歩いたといわれています。素朴なかたちに施された色鮮やかな色彩が特徴です。
おぼこや
〒447-0816 愛知県碧南市志貴崎町 2-19　TEL 0566-42-2014

下川原焼土人形 ねまり牛
青森県 弘前市
下川原焼は日用雑器をつくる津軽藩の御用窯でした。当時の藩主が津軽の地に玩具が少ないことを憂い、冬期の閑暇を利用して土人形をつくることを命じました。以来約200年間、鳴笛や干支笛などさまざまな人形がつくられており、津軽を代表する縁起物として人々から親しまれています。
阿保 正志
〒036-8083 青森県弘前市新里字上樋田 85-2　TEL 0172-27-3766

北浦土人形 なまはげ
秋田県 仙北市
北浦土人形は秋田県内の田沢湖近くの工房で作られる人形です。秋田県に古くから伝わる「なまはげ」は災いを払う来訪神とされ、藁の衣をまとい、鬼のような形相の面をかぶり家々を巡ります。
工房 北の仲間たち
〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字遠道 27　TEL 0187-43-1540

三春張子 宝うし
福島県 郡山市
彦治民芸は江戸時代に発祥した三春郷土玩具の製造元集落にある高柴デコ屋敷の 1 軒であり、十二支の郷土玩具で日本初の年賀切手になった三春駒の製造元です。福島の十二支張子づくりの元祖から素朴で愛らしい表情の張り子のウシをお届けします。
有限会社 彦治民芸
〒963-0902 福島県郡山市西田町高柴字舘野 80-1　TEL 024-972-2412

赤物人形 丑
埼玉県 鴻巣市
鴻巣は、江戸時代より雛人形の町と云われ、関東でも屈指の規の産地でした。赤物人形は、桐箪笥などの家具を作った後にできるおがくずと正麸糊を混ぜたものを型に入れて成形し、乾燥後に下地を塗り、彩色して出来上がります。昔から赤色は魔をよけるといわれ、無病息災・家内安全のお守りとして鴻巣の人形師によって作られてきました。
太刀屋
〒365-0037 埼玉県鴻巣市人形 3-1-51　TEL 048-541-0568

開運招き丑
愛知県 瀬戸市
瀬戸は豊富な陶土に恵まれ平安時代より約千年にわたり焼き物を作り続けてきており「せともの」として親しまれてきました。高度な製造技術と瀬戸の白い陶土を用いて、職人が一つ一つ生産しており新年を迎える準備として干支物を作り続けています。
瀬戸陶芸社
〒489-0914 愛知県瀬戸市孫田町 6-4　TEL 0561-82-2869

コシェルの起き上がり人形 恵比寿牛
岩手県 奥州市
内張りの技法を用いて岩手県奥州市で作っている張子の玩具です。表面には花巻市の成島和紙（なるしまわし）を貼り重ね、おもりには久慈市の小久慈焼（こくしやき）の土粘土を使用しています。一つ一つ手書きのため、同じものがありません。個性豊かな表情をお楽しみください。起き上がらない場合もありますが、手を添えて助けてあげれば起き上がります。
コシェルドゥ
〒023-0403 岩手県奥州市胆沢若柳字土橋 287-1　TEL 0197-47-3751

堤人形 鯨踏み招き猫
宮城県 仙台市
堤人形は伊達政宗公の時代に藩内の産業発展のため始まりました。現在でも当時の型を使ってつくられており、千数百個にのぼる土型の一部は、仙台市の有形文化財に指定されています。鯛引き寄せ猫は、福を引き寄せるという思いを込めて飾る縁起物です。
つつみのおひなっこや
〒981-0912 宮城県仙台市青葉区堤町 2-10-3431　TEL 022-233-6409

中湯川人形 来らんしょ丑
福島県 会津若松市
会津若松市の山中でつくられる中湯川人形は、数多くの型があり、それぞれ個性的な表情を楽しむことができる土人形です。「こらんしょ」とは当地の言葉で「どうぞ、こちらにお出でください」という意味。三つ指をついて福を歓迎する、招福の干支人形です。
工房 千想
〒965-0815 福島会津若松市東山町中湯川 256　TEL 0242-28-1640

東京だるま
東京都 西多摩郡
東京だるまは、江戸時代から多摩地区で生産されている手作りのだるまです。かつて多摩地域では養蚕が盛んに行われており、繭の仕上がりと、だるまの起き上がりとを掛け、だるまを養蚕のお守りにしていました。やがて蚕の起き上がりが家業の起き上がるにも結び付くようになり、商売繁盛、五穀豊穣 などを願う祈願だるまへと変化しました。
内野屋
〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町大字石畑 1651　TEL 042-557-5705

寅童子
愛知県 新城市
「寅童子」は愛知県新城市、鳳来寺東照宮に縁のある、おきあがりこぼし。「壬寅の年寅の月寅の日の寅の刻」に誕生した徳川家康公、実は家康公は鳳来寺の本尊薬師仏を護る十二神将の内寅の方角にある「寅童子」と呼ばれた仏像の化身であった、という逸話をもとに作られました。転んでも必ず起き上がる縁起物の玩具として親しまれています。
吉一商行　竹内 修
〒441-1615 愛知県新城市大野字小林 14　TEL 0536-32-1733

和紙張子の十二支 十二支の丑
岩手県 花巻市
宮沢賢治の生誕地としても知られる岩手県花巻市。豊かな文化を育み、古くからの伝統が息つくこの地では郷土玩具も数多くつくり続けられています。節句や年中行事に合わせ、人々は様々な願いを込めて人形を飾ってきました。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで一年間家を守ってくれるといわれています。
小田島民芸所
〒025-0098 岩手県花巻市材木町 10-20　TEL 0198-23-4856

仙台張子 丑
宮城県 仙台市
仙台では毎年、和紙の柔らかい表情を活かしたかわいらしい首振りの干支人形がつくられ親しまれています。十二支は古代中国で時を表す単位として用いられており、文字の読めない庶民にも理解できるよう動物の名をあてはめたといわれ、現代にも息づく信仰の対象となっています。
高橋はしめ工房
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中江 2-8-5　TEL 022-222-8606

赤べこ
福島県 会津若松市
会津地方では牛のことをベコと呼びます。千二百年程前、会津柳津・福満虚空蔵尊圓蔵寺の建立の際、最後まで働き通したのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には壮健を祈りまた疫病除としても贈られ、親しまれています。赤べこは平成９年に福島県伝統的工芸品に認定されました。
有限会社 民芸処番匠
〒965-0811 福島県会津若松市和田 1-6-3　TEL 0242-27-4358

とやま土人形 うし
富山県 富山市
天神臥牛を携いて献上したのが、とやま土人形の始まりであり、江戸末期以来、民間信仰・縁起物・玩具として作られてきました。この「うし」は天神様（菅原道真）とのゆかりの深い縁起物です。
とやま土人形伝承会
〒930-0881 富山県富山市安養坊 1118-1　TEL 076-431-4464

金沢張子 張子の干支
石川県 金沢市
金沢に数多くある玩具は、江戸時代後期に加賀藩の下級武士の手内職として広まり、正月の市や祭礼の際に売られていました。干支張子は愛嬌たっぷりにゆらゆらゆれる起き上がりのかたちをしています。
株式会社 中島めんや
〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-3-12　TEL 076-232-1818

中山人形 土鈴 福丑
秋田県 横手市
黒牛の背中に幸運を運ぶ宝珠を乗せた土鈴です。中山人形は明治初期から横手市でつくられており、色の鮮やかさが特徴です。かつて露店で販売をしていた時に、雪の中でも目に留まりやすくするために鮮やかな色が使われるようになったと言われています。
穐渡人形店
〒013-0036 秋田県横手市駅前町 5-67　TEL 0182-32-1560

福太郎
福島県 いわき市
こけしは昔、木地師が子どもに与えた玩具が発祥で、次第に湯治場のお土産ものとして東北地方で盛んにつくられるようになりました。伝統こけしには現在十一の系統があり、弥治郎こけしは宮城県の弥治郎地区で誕生しました。頭のベレー帽のようなろくろ模様が特長で、少女の愛らしい表情が見る人の心を和ませます。
木地処さとう
〒970-8022 福島県いわき市平塩字徳房内 92-3　TEL 0246-22-0246

芝原人形 鯛狆
千葉県 長生郡
鯛はめでたいに通じ、狆は犬の一種で安産と幼児の健康を守ると信じられている縁起ものです。
芝原人形 草の子窯
〒297-0154 千葉県長生郡長南町岩撫 44-1　TEL 0475-46-0850

五箇山和紙 紙塑民芸品 牛
富山県 南砺市
世界遺産の合掌造り集落で有名な富山県五箇山では古くから手漉き和紙の生産が行われていました。和紙生産の際に出る原料の端材を再利用し、手づくりの紙粘土に加工します。紙粘土を型に押し込み、形づくって着彩したものが紙塑人形で、現在では一人の職人によって絵付けが施されています。伝統的な獅子頭や干支の人形など愛らしい縁起物がつくられています。
農事組合法人五箇山和紙
〒939-1923 富山県南砺市下梨 148　TEL 0763-66-2016

素焼なごみ土鈴 牛
京都府 京都市
素焼きなごみ人形は伝統的な技法を使いながら、ほっとする優しさをもった土鈴です。牛は古くから運搬の手段として金銀財宝を運ぶのに使われており、金運招来を意味して運を運ぶ縁起物として親しまれています。
株式会社 MASSO.
〒615-0083 京都市右京区山之内瀬戸畑町 10-3　TEL 075-203-8454

京陶人形 小判 丑
京都府 京都市
京陶人形は京都で作られている陶彫人形で、顔料などで極彩色に仕上げたものから、土味を生かした淡彩色のもの、本焼・焼しめで仕上げたものなどいろいろな形で親しまれてきました。小判ウシは、小判を運んでくる金運招来を意味して運を運んでくれます。
土田人形
〒615-0915 京都市右京区梅津南町 1-10　TEL 075-871-6834

作州牛
岡山県 津山市
古く播磨から吉備の国は牛の飼育が盛んで、牛を祭神とした神社があります。また作州牛は神牛の血を引き強力で智性にとんでいるといわれています。民芸品作州牛は、このような和牛をいろいろな竹材で象った岡山県の代表的な郷土玩具です。
津山民芸社
〒708-0052 岡山県津山市田町 23-1　TEL 0868-22-4691

三河土人形 双子猫
愛知県 碧南市
陶磁器の産地にほど近い愛知県三河地方では良質な土が採れることもあり、江戸時代から各地でその農閑期を利用して土人形が盛んにつくられてきました。土人形は「おぼこ」と呼ばれ、ひな祭りが近づくと行商の人が売り歩いたといわれています。素朴なかたちに施された色鮮やかな色彩が特徴です。
おぼこや
〒447-0816 愛知県碧南市志貴崎町 2-19　TEL 0566-42-2014

張子 うしなすび
奈良県 香芝市
この張り子は形が茄子に似ていることに由来し、ものごとを"或す"ことをかけ合わせてつくりました。両様の三本線は、地図記号では「荒地」を意味しますが、この牛が豊かな土地へと耕し、夢や希望を成就できるようにと願いを込めています。古来より、牛は人間の生活に身近な動物で、農耕や物品をよく運びよく働く様子から「粘り強さと誠実」の象徴とされてきました。
社会福祉法人わたぼうしの会　Ｇｏｏｄ Ｊｏｂ！センター香芝
〒639-0231 奈良県香芝市下田西 2-8-1　TEL 0745-44-8229

湊人形 はったつ猫
大阪府 堺市
湊焼（みなとやき）は、大阪府堺市西湊町で江戸初期頃に始まりました。大正の中ごろに土人形を作るようになり、現在は十六代目が茶陶を中心とした作品をつくるかたわらに南は人人形やはったつ猫をつくっています。毎月初めの辰の日に詣でると授与される小さな「初辰さん」を四年間欠かさず詣でて、都合四十八体が揃うと「四十八辰」すなわち「始終発達」が叶う縁起物です。
津塩 吉右衛門
〒590-0835 大阪府堺市堺区西湊町 2 丁 2-18　TEL 072-241-8417

大阪張子 虎張り子
大阪府 柏原市
大阪張子は子どもの成長を祈る玩具として室町時代から親しまれてきました。日本で初めて型沙門天が現れたとされる信貴山（しぎさん）の 朝護孫子寺（ちょうごそんし）では、張子の虎がお守りとして授与され、大阪張子を原型とした「世界一福寅」も親しまれています。大阪では5月5日の端午の節句に、男とともに張子の虎を飾って男の子の成長を祝います。
大阪張り子工房 峯商店
〒582-0007 大阪府柏原市上市 1-4-12　TEL 072-973-0423

木彫り 福丑
岡山県 英田郡
岡山県のヒノキで、ひとつずつ作られた干支の福車です。
森を受け継ぎ、育ててきた土地ならではのヒノキは、美しい木目と香りを楽しめます。「がくもん」の象徴である亀が走ると、まわりに豊かな学びや気づきがどんどん増えるという想いが込められた、縁起の良い干支の車です。
株式会社 ようび
〒707-0502 岡山県英田郡西粟倉村坂根 43　TEL 0868-75-3223

作州牛
岡山県 津山市
古く播磨から吉備の国は牛の飼育が盛んで、牛を祭神とした神社があります。また作州牛は神牛の血を引き強力で智性にとんでいるといわれています。民芸品作州牛は、このような和牛をいろいろな竹材で象った岡山県の代表的な郷土玩具です。
津山民芸社
〒708-0052 岡山県津山市田町 23-1　TEL 0868-22-4691

赤久張子
岡山県 瀬戸内市
当地方では古くから男児が誕生すると、強くたくましく育つよう願って張子の虎を贈る風習があります。約 60 年前から本格的に張子の制作を始め、のちに十二支も手掛けるようになり現在に至ります。吹き込み技法により、抜いた型を天日乾燥した後、胡粉で固め、絵付けをして仕上げます。手書きの素朴な風合いを楽しんでいただけたら幸いです。
有限会社 武久守商店
〒701-4214 岡山県瀬戸内市邑久町本庄 2002-2　TEL 0869-22-0530

鴨方土人形 くろべぇ招き猫
岡山県 浅口市
鴨方土人形は大阪市の北部の北江口町で江口土人形として制作をはじめ、より良い制作環境を求めて現在の岡山県浅口市鴨方町で鴨方土人形に改名。招き猫をはじめとする様々な縁起物を制作致しております。くろべぇ招き猫は、知人の飼い猫に似せて制作したのが始まりで、白黒ハチワレの猫をくろべぇと呼んでおります。
橋本 淳一
〒719-0243 岡山県浅口市鴨方町鴨方 1317-1　TEL 0865-44-2976

岩井温泉の十二支 木彫りの十二支
鳥取県 岩美郡
1300 年の歴史がある山陰最古の「岩井温泉」。江戸時代より木地師がろくろ挽きの食器などをつくってきましたが、温泉地のお土産ものとして、愛らしい干支の人形が親しまれるようになりました。素朴でユーモラスな表情をしています。
おくら屋
〒681-0024 鳥取県岩美郡岩美町岩井 319　TEL 0857-72-0520

鳥取のえと 丑
鳥取県 鳥取市
鳥取のえとは針葉樹でつくられる木彫りの干支人形です。古くから民藝や手工芸がさかんな土地柄もあり、戦後から伝統的な流し雛づくりの傍らでつくられてきました。モダンな色使いや愛らしい表情が特徴のうしです。
倍夫工芸店
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町 116　TEL 0857-23-0506

長州土鈴 金魚土鈴
山口県 美祢市
山口県大島郡周防にある屋代島は金魚のような形をしています。約 50 年前から山口県郷土玩具作家協会によって金魚をモチーフにした土鈴が作られるようになりました。いまでも金運と幸福を招く縁起物のとして地元の人々に親しまれています。
有限会社 民芸くらもと
〒754-0511 山口県美祢市秋芳町秋吉 614　TEL 0837-62-0208

土佐漆喰人形 森のふくろう おんな
高知県 吾川郡
土佐では昔からとても身近な存在であった土佐和紙と漆喰を使い、裏彩色という技法で着色された人形です。表面には柿渋などを塗り、漆喰を絞った液に顔料を混ぜたもので着色することで、味わい深い仕上がりになっています。子を抱いたフクロウは、子を抱くという愛情と希望の願いが込められています。
草流舎
〒781-2110 高知県吾川郡いの町 3811　TEL 088-892-1045

弓野人形 梟笛
佐賀県 武雄市
明治十五年に原田亀次郎が博多人形師藤原清重に弟子入りしたのち、九州各地で修業をして嬉野町吉田山にたどり着きました。その後、弓野のつくり酒屋でお世話になった恩義を報いるため本格的な弓野人形を作り始めました。創業以来、時代に合わせて様々な商品を作りながら、素朴な土人形を現在まで受け継いで作っております。
江口人形店
〒843-0231 佐賀県武雄市西川登町大字小田志 14900　TEL 0954-28-2028

邑久張子
岡山県 瀬戸内市
当地方では古くから男児が誕生すると、強くたくましく育つよう願って張子の虎を贈る風習があります。約 60 年前から本格的に張子の制作を始め、のちに十二支も手掛けるようになり現在に至ります。吹き込み技法により、抜いた型を天日乾燥した後、胡粉で固め、絵付けをして仕上げます。手書きの素朴な風合いを楽しんでいただけたら幸いです。
有限会社 武久守商店
〒701-4214 岡山県瀬戸内市邑久町本庄 2002-2　TEL 0869-22-0530

筑前津屋崎人形 福笛
福岡県 福津市
福岡や山口では、河豚のことを"フク"と言い、"福"に通じるとされています。フク笛は、ふっくらとしたフクをかたどった土笛で、音がするおもちゃとして地元で人気があります。尾のところを吹くと"ほうほう"と優しい音がします。
筑前津屋崎人形巧房
〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 3-14-3　TEL 0940-52-0419

のごみ人形 うし鈴
佐賀県 鹿島市
日本三大稲荷のひとつ、祐徳稲荷神社の参道で売られるのごみ人形は、第二次世界大戦後の世の中を明るくしたいという想いから始まりました。天神様の神使いである牛は、粘り強さと誠実さを象徴し、息災を願う干支とされています。
のごみ人形工房
〒849-1314 佐賀県鹿島市大字山浦甲 1524　TEL 0954-63-4085

金天だるま
愛媛県 松山市
姫だるまの原型ともいわれている起き上がりこぼし。頭のてっぺんが金色なので「金天だるま」と呼ばれる、開体には太陽（白）と松葉（緑）が描かれ金運などの福を呼ぶ縁起物として神棚などに飾られます。
両村 信恵
〒791-8004 愛媛県松山市鴨川町 3-2-30　TEL 0899-22-3534

干支達磨
福岡県 福岡市
伝統的な技法を用いながらも、常に新しい解釈のダルマ作りを行うヤチコダルマ。新しい年の干支である牛が頭に乗ったダルマの張り子です。
やちこダルマ　吉田 弥稚子
MAIL：yachikodaruma@gmail.com

尾崎人形 寝牛笛
佐賀県 神崎市
尾崎人形は13世紀末の元寇の役よりこの地に住み始めた大陸の捕虜が、故郷を偲びつくりはじめたと言い伝えられてきました。この土笛は以前作られていた寝牛を復刻させたもので、自分の体の悪いところと同じ部分をさすると病が良くなるといわれるお守りでもありました。
高柳 政廣
〒842-0015 佐賀県神崎市神崎町尾崎 546　TEL 0952-53-0091

宇和島一刀彫 牛鬼ブーヤレ
愛媛県 宇和島市
毎年 7 月に宇和島で行われるお祭りに登場するのが、全長 5-6m もある牛鬼です。子どもたちが吹き鳴らすブーブーと鳴る竹ボラの音からブーヤレとも呼ばれ親しまれ、町を練り歩きゆく先々の邪気を払います。ます。この木彫りのブーヤレも魔除けのお土産として親しまれています。
株式会社 宇和島名産即売所
〒798-0034 愛媛県宇和島市錦町 9-3　TEL 0895-22-2718

寒水のガラガラ 白
佐賀県 佐賀市
佐賀県みやき町で作られていた８００年以上の歴史がある土鈴で、お正月に神社で買い求めて家の玄関口に掲げて魔除けにしたり、五穀豊穣を願って田んぼに埋めたりされていました。明治時代に廃絶してまいましたが、現存していた人形を元に復刻させました。
佐賀一品堂
〒840-0813 佐賀県佐賀市唐人1丁目1-13　TEL 070-5276-2797

下浦土玩具 めじろおし
熊本県 天草市
天草の鳥でもあるメジロが集う「めじろおし」は、賑々しく地域の未来が栄えていってほしいという願いが込められた縁起物です。300年以上受け継がれてきた「天草土人形」を大切に残したいという思いから、天草石工や陶工、デザイナーのチームでつくられています。
しもうら弁天会
〒861-6551 熊本県天草市下浦町 1303-1　TEL 090-9587-7589

土佐木彫 土佐香泉 飾牛
高知県 高知市
高知出身の女流画家、郷土玩具作家の山本香泉が残した香泉人形の飾り牛です。山本香泉は終戦後に高知に戻り、地元に昔から伝わる玩具などを参考にして土人形、土鈴、張り子などの制作に励みました。とさ民芸店ちゃまみギャラリーでは、残された資料を元に高知県の郷土玩具を復刻し、虫の中に知ってもらう取り組みを行っています。
とさ民芸店・ちゃまみギャラリー
〒780-0833 高知県高知市南はりまや町 1-15-7　TEL 088-882-0171

曳山玩具 小山 赤獅子
佐賀県 唐津市
「唐津くんち」のハイライトである曳山は文政２年の赤獅子から明治９年の七宝丸まで15台あります。町々で競い、莫大な費用を使って武家に対する唐津っ子の意気込みを示したものとして制作されました。この豪壮な由緒ある曳山をからつの民芸品として、曳山土人形を手作りで製作しました。
唐津民芸曳山
〒847-0014 佐賀県唐津市西城内 6-33　TEL 0955-74-0526

木葉猿 祈り猿
熊本県 玉名郡
1301年前、木葉山の赤土で祭器をつくり、残りの土を捨てたら猿に化したという伝説から生まれたと伝えられる木葉猿。魔除け、災難除け、安産、子宝、子孫繁栄の守り神として古くから親しまれています。型を使わず指先だけで粘土をひねってつくられ、茶色い肌は素焼きそのままの素朴な風合いとなっています。
木葉猿窯元
〒869-0303 熊本県玉名郡玉東町木葉 60　TEL 0968-85-2052

MUJI 無印良品